

## 知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

### 1 団体名

(公財) 東京都道路整備保全公社

### 2 実施日時

令和元年7月17日(水) 13時31分～13時46分

### 3 出席者

- ・団体側出席者：藤井理事長、東常務理事、  
前田道路管理部長(建設局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、  
小林行政改革推進部長

### 4 議事概要

#### ○小池知事

先日、東電の無電柱化の取組を視察したが、イノベーションが進んでいることを確認した。現場をより研究してもらい、コストと労力を下げる方策などを工夫してほしい。

#### ○藤井理事長

承知した。

#### ○小池知事

最近、動力がEVにシフトしてきており、駐車している間に充電したいというニーズも出てくることを考慮すると、自動車と二輪車の駐車場についてもこれから考えなくてはならない。

#### ○東常務理事

現在、自動車については、大体40基の充電設備を設置しており、そのうち、急速充電器を12か所設置している。今後は、オートバイについても可能な箇所への設置を考えている。

オートバイ駐車場について、民間駐車場ではなかなか採算性が取れない。そのため、我々が直轄で整備することと、整備を助成するというを所管の都市整備局と一緒にやっていく。

助成制度については、昨年度まで整備台数が5台以上であったが、2台以上でも助成できるように、この4月から要件を緩和した。

○小池知事

いろいろな産業が変わり目に来ている。そうした取組をしっかりとすることが、次への移行の後押しになると思う。都は、2030年に新車の販売の5割はEVもしくはPHVを目指しているのです、そのためにも必要である。

○藤井理事長

そういう選択を後押しできるように、よく勉強していきたい。

○武市財務局長

インバウンドの増加に対しては、バスの駐車場を増やす取組も進めているのか。

○東常務理事

現在、丸ノ内鍛冶橋、都庁、歌舞伎町の3つのバス駐車場を管理運営している。歌舞伎町観光バス駐車場は、インバウンドの路上駐車対策として、新宿警察、新宿区と連携して整備した。

○藤井理事長

再開発等により、併せてバスの駐車場を作るのもかなり進んできている。

○東常務理事

バスの駐車場は場所を必要とする。インバウンド対策には非常に効果が出ているが、場所を何とかしなくてはいけない。

○小池知事

駐車場の場所もどこでもいいわけではなく、目的地に近くないと意味がない。

○東常務理事

新南口に（バスタ新宿が）できたが、滞留しているバスがまだ見られる。足りないところがあると思う。